

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス夢の地図		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日		～ 2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21人	(回答者数) 21人
○従業者評価実施期間	2024年 12月 20日		～ 2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	その日や利用児童に合った活動内容を検討し円滑に集団活動が行えるようにしている。	活動内容がその日の児童や人数によって、だれでも楽しめるように内容を検討している。 職員間で活動の選択、方法を事前に確認している。	活動内容のバリエーションを増やす。 「4つの基本活動を複数組み合わせたと取り組み」を考えていく。 研修により活動内容の目的や、効果を考えた支援を増やしていく。
2	専門職員を配置している。 配置以上の職員により安全に過ごせる環境を整えている。	専門職員を配置してより専門的な視点で支援、アセスメントしている。 職員の人数を増やして目が届くように配置している。	研修内容の見直し、追加などを考えて計画に加えていく。 支援開始前の打ち合わせを充実していく。 保護者に対して専門的視点で見たアドバイスをしていく。
3	個別支援計画の充実、アセスメントの向上を図っている。	個別支援計画書を策定するときもスタッフが参加して日々の様子を情報共有したうえでアセスメントしている。 職員全体に日々の様子を話し合いで情報共有している。	保護者とのコミュニケーションを図り情報収集したうえでアセスメントが充実していけるようにしていく。 研修を充実させ職員がスキルアップすることでアセスメント能力の向上を目指す。
4	保護者との連絡ツールを活用し情報提供することで安心につながる取り組みをしている。	保護者との連絡も日々連絡帳でのお知らせ、ラインワークスでのやり取り、必要時は月ごとで様子も伝えている。	出来たこと、いいことなども保護者に伝えられるようにする。 日々の様子を動画や写真でも情報提供できるようにしている。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流や繋がりはまだ少ない状況。	コロナ禍もあり感染予防のため行えていなかった。 地域交流の場や交流方法が分からない。 利用中の時間を合わない。	地域の交流の機会があれば参加していきたい。
2	話し合いや会議の内容が会議に参加出来なかった職員や、パートに周知できないことがある。	細かいことは議事録や連絡ノートに記入していないため誰に何処まで伝わっているか把握できていない。	議事録や連絡ノートに記載して全職員が閲覧できるように徹底する。 更新した書類は声掛けして確認できるようにしていく。
3	親子での参加の機会、親の同士の関係が持てる場が少ない。	コロナ禍のため感染予防のため行えていなかった。	茶話会により保護者同士の繋がり、参観できる環境を作り親子で活動に参加できる環境を作る。